

こぐまのマロン君と桜時雨

桜の木につぼみがつくと、森に春がやってきます。最初にそれを見つけたのは、小鳥たち。森に冷たい風が吹く間、小鳥たちは南国で英気を養います。小鳥たちは、森の雪が解けるところに戻り、冬の間ずっと森にいてくれるのです。小鳥の声が森の中に響きはじめるころ。「そろそろ、外にでてもいいかな」こぐまのマロンくんは、縫い物をしているお母さんくまに聞きました。お母さん

さんは、窓の外を見ると、「もうすぐ春がやってくるわね。」「よきそうよ、とマロンくんの顔を見てにこりといいました。わあ、と声を上げるとマロンくんは、すぐに着替えると、外に出る準備をしました。こぐまの一家は冬の間、ほぼずつと家の中ですごしています。その間、マロンくんは、お勉強の他、お母さんお父さんの手伝いをしながらすごしてきました。準備万端で外に出ようとする、「あら、マロン。出る前にこれだけ手伝って頂戴」とお母さん

あとがき・・・みたいなもの

今号より趣向を変え、テーマを決めて発行しました。普段ブログやメルマガ、サイトで書いていない、ちよつとした裏話的なことを書こうと思いつてはじめたのがフリベです。作品よりもこちらのフリートークを楽しみにしている人も中にはいたりして、私自身、他サークルさんの新聞やフリペが好きです。そんな人柄が表れるフリベを作って生きたいです。それでは次号にお会いしましょう。2017年春

かずら日和 桜時雨

平成二十九年四月三十日発行

編集・・・かずら

発行・・・蔓庵

<https://kazurafgetsu416.jimdo.com/>

kazurafgetsu416@gmail.com



【すべての独り言を過去にする】
【知名度0%のポエム・1】

空が青いととき、

今できることをやろう。できないと決めてしまうのはもったいない。やってみてから、考えよう。誰かができることは、自分もできることだと、想わないのはい。人間みな同じ能力を持っている。誰かが自分よりちよつとだけ違うのは、ほんのちよつとの「努力」だ。あきらめのはまだ早い。まずはやってみてから。

昨日の僕は今日の君。昨日の君は今日の僕。地球がいくつ年を重ねても、それは変わらない。青い鳥が庭の木の下にやってくるとき。太陽は僕らの背中を熱くさせる。木々はざわめき。ひまわりは愛を語る。僕らの小指に結ばれた赤い糸。それは果てしない世界のはじまりだから。

「日後。すっかり雪がとけ、木のざわめきが朝のモーニングコールになるころマロンくんは、学校の帰りにあの場所に行きました。小さな妖精さんとお別れしたところです。その場所に近づくと、うっすら甘い香りが風につけて香ってきます。場所に着くと、目の前には、大きな木が桜色に染まっています。木の下に行き見上げてみると、桜の花びらが風がないのにひらひらと落ちてきました。「マロン君、ありがとう」桜の花びらがさらさらと歌

いはじめました。桜の花びらを肩のせて、マロンくんはその歌を聴いていました。おわり
この作品は書き下ろしです。

【イベント出店情報】
【新刊情報】

2017年イベント出店情報

8月：夏コミケ
12月：冬コミケ

発売予定日：2017年8月
タイトル：未定
価格：未定

申し込み後抽選です。当選しましたら出店確定します。ブース場所は、HPでお知らせします。

かずらと銀灰から新作発表を予定しています。こちらでも決まり次第、HPでお知らせします。

くると、中から小さな羽根の生えた妖精さんが出てきました。「まだ木が目覚めていないけれど」残念そうにいうと、妖精さんは幹に顔をよせると「眠っているみたいだわ」というと、マロンくんは「こりとお辞儀しました。こ

2017© Kazura-An

こまでつれてきてくれてありがとう。」「マロンくんはにこりとすると「日たつたらここに来て。私を助けてくれたお礼をするから」というと、すつと宙に浮かび妖精さんは木の中に吸い込まれていきました。

2017© Kazura-An

くまに掃除を頼まれました。マロンくんはすぐにお母さんくまの手伝いをし、もうこれでいけるだろう、とドアを開けました。ドアを開けると同時に、目の前にはお兄さんくまがいました。「お兄さん」とマロンくんとお兄さんくまは同時に驚きました。お母さんはお兄さんくまの帰宅を喜びました。マロンくんもお兄さんの帰宅には大喜び。お兄さんと乃会話をしはし楽しむと、はつと気付きました。そうだ、外にいかなくちや。マロンくんは、お兄さんと

お母さんくまが話している隙をみて、ようやく家を出ることにしました。なぜマロンくんがそんなに外に出たかっただか、というと・・・マロン君は、そつと青いかばんを背中に背負うと、ある場所を目指すためです。「もう少しだからね」マロンくんは背中のかばんに声をかけました。森の木々はまだ眠りから覚めていない木、目覚めたばかりの木で、まだ完全に森の活気が感じられません。そんな森の中、太陽

これは無料配布用です

【目次】

- イベント出店情報&新刊情報
- すべての独り言を過去にする
- 知名度0%のポエム
- こぐまのマロン君と桜時雨
- あとがき

桜時雨 日和かずら

2017年春号